



# このまちとともに



## 放射能汚染から市民の健康と安全を守る対策を

日本共産党市議団は6月から専門家と市民の協力を得て市内の放射線量測定を実施、高津区内の測定値は以下の通りです。測定器：日立アロカPDR-101ポケットサーベイメータ、地上5cm、50cm、1mで10秒間隔で10回測定し平均値を算出。以下は地上5cmの測定値。単位： $\mu\text{Sv}$ =マイクロシーベルト/毎時（すべり台下=降り口地点） 詳細は共産党川崎市議団のホームページをご覧ください

### 10月14日

溝口公園ブランコ下	0,067
下作延北の谷公園	0,082
向ヶ丘東公園落ち葉だまり	0,093
ブランコの下	0,063
末長けやき公園ブランコ下	0,083
末長宗田公園すべり台下	0,049
野川東公園砂場	0,066
ベンチ下	0,10
野川第5公園砂場	0,065
野川中耕地公園すべり台下	0,056

### 9月16日

溝口北公園砂場	0,053
*すべり台下0,353 10/14測定	0,150
すべり台横	0,082
不動が丘公園すべり台下	0,137
側溝（ふた開け）	0,151
末長東公園中央	0,067
新作第3公園すべり台下	0,081
ブランコ下	0,120
千年新町公園すべり台下	0,093
調整池	0,100
子母口旭田公園すべり台下	0,118



\*溝口北公園すべり台下について、行政に対応を依頼する。建設緑政局長より9月27日2か所所で測定、滑り台中央付近（0,09）、滑り台下（0,17 $\mu\text{Sv}$ /時間）で0,19 $\mu\text{Sv}$ 以下であるため、規制措置は行わないという通知あり。

行政の測定機器-シンチレーション式サーベイメーターで地上5cmを測定

### 8月10日

二子公園 ブランコ近く	0,090
二子公園 かのこの塔下	0,164
宇奈根グランド	0,074
大陸天公園すべり台下	0,091
下野毛2丁目公園 ブランコ下	0,104
下作延かつら公園砂場	0,067
梶ヶ谷第1公園すべり台下	0,057
*斜面下の側溝土砂つまり	0,213
市民プラザ子どもの広場	0,061
たちばなふれあいの森	0,080
久末宮の谷公園すべり台下	0,073



\* 梶ヶ谷第1公園斜面下の側溝について行政に対応を依頼する。8月30日測定、（0,10 $\mu\text{Sv}$ シーベルト）9月9日と12日に園内の側溝の土砂をかき出したという連絡あり。

### 6月25日

新作下耕地公園	0,056
新城公園（中原区）	0,049
橘公園	0,084
県営久末アパート	0,056
子ども夢パーク	0,045
久地梅林公園	0,066
溝口南公園	0,069
東高津公園	0,049



## 市内公園の放射線汚染で

(8月19日)

# 共産党が特別体制を市に要請

「放射性物質対策検討特別部会」を市が設置

とる、として「放射性物質対策検討特別部会」を設置しました。

学校・保育園等の継続的な測定と

(10月25日)



申し入れを行う共産党市議団(10/25)

8月18日、平間公園、稲田公園等で高い放射線量が測定されました。

共産党市議団は、この事態を重くみて翌19日に市長宛に①他都市のように独自基準を決め、超えた場合は、除染、土壌の入れ替えなど、線量を下げる対策をとること ②今後もホットスポットなどが発見されること予測されることから、市民の安全、健康、特に子どもたちを守るためにも特段の体制を確立することを申し入れました。

9月6日に川崎市は、市民が安心できるように必要な調査と対策を



特に放射線が蓄積しやすい側溝を計測



市に対策を申し入れる市議団(8/19)

## 側溝、雨どい下等の測定の実施を要請

学路、公園等で継続的に測定を実施し、特に雨どい下、側溝、遊具下等、ホットスポットを形成しやすい場所を測定すること ②被ばくの最低限度の基準はこれまで(毎時0・19マイクロシーベルト)を維持し、基準を超えた地点は詳細に調査しすみやかに除染、土壌の入れ替えなどの対策をとること ③必要な放射線測定器を確保し測定を希望する市民や団体に提供することを申し入れました。

市が「第2次調査と側溝、雨どいの下などの測定を行う」と発表

市は、6月に実施した保育園、幼稚園、小中高校、特別支援学校、公園の計44



7施設の追跡調査を行うとともに、雨どいの下、側溝、遊具下、校庭隅の吹きだまり、公園の排水口などの測定を、11月末を終了目処にできるだけ早く始めると発表しました。

「特に子どもに関わる場所を継続的に測定し、雨どい、側溝などの測定実施を」と迫った9月議会の代表質問に続き、10月25日、市長宛に申し入れを行いました。この間も共産党市議団は、専門家の協力のもと独自測定を行ってきましたが、全体としてごくわずかに測定値は減少する傾向があるものの、局所的に高線量を示す「ホットスポット」が存在していることが明らかに、①学校、保育園、通